

2026 年度

SGT 活動レポート

農業体験講座 第1回 棚田ツアー

4月25日(土)に第1回農業体験講座を、静岡市の清沢にある棚田で実施しました。中学生と高校生を合わせて27名が参加しました。

最初に、この棚田を運営している清沢塾の多田塾長よりお話を頂きました。この棚田では色々な種類のお米(「旭」「神秘」「みどり米」「びっくりもち」「借錢切」の5種類)を、化学肥料を使わずに無農薬で育てていることや、これにより田んぼの中には様々な生き物が生きて共生していることとお話しされました。一方で、ハチやヒルなどの危険な生き物もいることや、農作業で使用する刃物を使う際には十分に気をつけて使うなど、安全面での注意点も受けました。

高校2年生以上のグループ、高校1年生のグループ、中学生のグループの3グループに分かれてそれぞれの場所で作業を行いました。高校2年生以上のグループは、田に水を引くための取水口の掃除と整備を、高校1年生は害獣が入らないように田の周りにネットを張る仕事と上段の田の田起こしを、中学生は下段の田起こしをしました。今年は、すぐに田に種籾が蒔かれており、小さな育っていました。生徒たちは、より効率的なやり方を自分たちで模索しながら作業に取り組み、土で手や服が汚れることを気にすることなく、皆真剣に作業をしていました。今年も清沢塾の有志のご婦人の方々がみそ汁を作ってくれましたが、中学1年生の女子3名が野菜を切るなどお手伝いをしました。肉体労働のあとのみそ汁は体の疲れを一瞬で忘れさせてくれる程美味しく、何倍もお代わりお代わりをした生徒がいました。食後は、田起こしの続きと茶畑に落葉を蒔いて茶摘みのシーズンに備えました。1日作業をして、生徒たちは生き活きとした達成感のある表情をしていました。

今回の農業体験を通じて、農作業には様々な作業があることを学びました。次回は5月23日(土)です。いよいよ田植えです。



清沢塾の塾長からお話を聞きます。寛政年間に作られた棚田です。



高校2年生を中心に取水口に詰まった落葉や石を取り除きます。



落葉がだいぶ溜まっていました。スコップやシャベルで掻き出します。



沢の水が取水口に向かうように堤防を作り、流れを変えます。



高校1年生は害獣除けの網を張ります。まずは手順について説明を聞きます。



まず害獣除け用の電気策のポールを立てます。網を張った後で電線を付けます。



網を飛び越えて鹿が侵入した場所は、網を二重に設置して簡単に入れないようにします。



3人で協力して網を張っていきます。重いので注意しながら上手く巻き付けていきます。



中学生は二手に分かれて田起こしをします。11月に収穫をしてからそのままになっている田んぼの土を耕します。



今年は育苗箱を田に設置して苗を育てています。鹿や猪に食べられないように網で覆っています。



400年振りに田の中にあつた大きな石を中学生が協力して取り除きました。これで田植えがやりやすくなります。



午後は、全員で茶畑に落葉を蒔きました。来月は茶摘みの時期になりますが、若芽がすくすくと育っています。